



西有家小学校だより 8号
校訓 (勤労・勉学・大志)
学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和5年11月1日
南島原市立西有家小学校
TEL 73-6741
(文責 校長 大古場)



秋の深まり



朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。近くの間々でも紅葉が進んでおり、これからは、秋の素敵な景色が各地でたくさん見られることでしょう。

さて、学校ではこの秋に様々な取組を行います。遠足や学習発表会、持久走大会、SDGs学習会など……。特に、11月17日(金)の「学習発表会」では、演技や演奏などで自分をしっかりと表現できるよう、練習に取り組んでいるところです。当日は、感染症対策を講じながらの開催となりますが、多数のご参観をお待ちしています。

「運を呼び込む秋」

先日、プロ野球のドラフト会議があったことは、ご存じの方も多いと思います。この会議では、これまでに数々のドラマを生んできましたが、その中でよく「運」という言葉が出てきています。その運について、面白い話がありましたのでご紹介します。



みなさんは、「運」という言葉をどう考えられますか。日常的にはよく「運がよかった」「運が悪かった」という話をすると思います。果たして運の良し悪しはどのように決まるのでしょうか。国民栄誉賞を受賞された、元メジャーリーガーの松井秀喜選手とプロ野球読売ジャイアンツの元監督、長嶋茂雄さんの運にまつわるお話です。

松井選手は高校生の時からプロに注目されていた選手で、ドラフト会議では複数の球団から指名を受けることが予想されていました。そこで、当時のジャイアンツの監督であった長嶋茂雄さんは、ある秘策を実行しました。それは、「くじ引きの練習をすること」だったそうです。長嶋監督は毎日何十回もくじを引き続けました。もちろん、くじ引きは運なので練習したからといって引き当てる確率が上がることはありません。それでも毎日練習を繰り返したそうです。そして、ドラフト会議当日、長嶋監督は見事に松井選手を引き当てたわけです。それもくじ引きの順番が一番最後。つまり最後に残っていた一枚だけのくじを取っただけで、くじ引きはしなかったのです。しかし、この事実の中には偶然の要素もありますが、運を引き寄せるための秘訣があるような気がします。今や世界でナンバーワンの野球選手と言われる大谷翔平選手も運を引き寄せるために、道具を大切に扱ったり、誰にでも挨拶をしたり、ゴミを進んで拾ったりするなどの言動を自らに課しているそうです。

「『運がいい』なんてことはあり得ない。チャンスは周到な準備をした者だけにやってくる。」

これは、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さんの言葉です。偉大なスポーツ選手や科学者が、運と準備の関係性を語っているのも面白いものです。

子どもたちには、準備をしっかりと行うことでより良い結果に結びつくという経験を積み、さらに子どもたちの資質や能力を伸ばすことができるように励ましていきたいと思います。準備をする習慣が身に付き、運を味方にできるような秋になることを期待しています。

「読書の秋」

本校では、全国読書週間にちなんで、10月23日から11月2日までを「西小読書週間」として、多くの取組を行っています。子どもたちにいろいろな分野の本に目を向けさせるための「読書ビンゴカード」や賞賛のための「多読者の紹介」、本を楽しく読むための西有家図書館の小谷さんによる「図書室からの挑戦状」などです。

また、学年はじめには学年での年間目標冊数を決めて取り組んでいますが、各学年の年間目標冊数と現在その目標冊数を達成した子どもの割合は次のとおりです



1年…100冊(63%) 2年…120冊(38%) 3年…100冊(38%)
4年…100冊(62%) 5年…70冊(42%) 6年…70冊(75%)

読書は、豊かな情操を育むだけでなく、言葉の習得、読解力の向上、脳の活性化など、多くの効果があります。また、自分の生き方にも大きな影響を与える一冊の本と巡り合うことさえあります。これからは子どもたちが読書に親しむことで、より豊かな人生が送れるよう努めていきます。

※(裏面に続きます)

「芸術の秋」Part 1

☆南島原市読書感想文コンクール【入選】1年 田頭 永都くん

☆赤い羽根クオカードデザインコンクール【最優秀賞】5年 城川 和空くん 【優秀賞】5年 草野 桃さん
・城川和空くんの作品は、募金を呼び掛けるクオカードのデザインとして採用されています。

「好きこそものの上手なれ」を生かす秋

日本には、昔から「好きこそものの上手なれ」ということわざがあります。「人は好きなものに対しては熱心に努力するので、上達が早い」という意味です。簡単に言うと、物事が上手になるための一番の近道は、そのことをまず「好き」になることであるということです。実際に、漢字に興味をもち、一気に100字を覚えてしまった子や、サッカーの面白さに引き込まれ、驚くほどのテクニックを身に付けた子も知っています。

では、なぜ好きになると、それが上手になるのでしょうか。それは、好きなことは繰り返りやりたくなる、つまり上手になるには反復練習が必要であり、そういう行為が自然と起こります。やすくなるからです。そして、上手になってから継続していくと、それはいつか自分最得意の強み(武器)にもなります。もちろん、その過程では、周りから認められたい、賞賛されたい、必要になります。学校をはじめ、身の回りには、たくさん「好き」が転がっています。何をやるにも秋は絶好の季節です。子どもたちには、好奇心をもって周りを見渡し、たくさん「好き」を見つけてほしいと思います。そしてその「好き」をエネルギーにして力を伸ばしてほしいと願っています。



「スポーツの秋」

☆「バレーボール」＜第18回南島原市小学生バレーボール大会＞

女子の部 優勝 西有家JVC

＜第46回長崎県小学生バレーボール大会＞

女子の部 パート優勝 西有家JVC



☆「サッカー」＜長崎県ジュニアサッカー新人大会 南島原市予選会＞準優勝 FC西有家
優秀選手賞 5年 草野 桃さん

☆「バスケットボール」

＜長崎県ミニバスケットボール選手権大会島原地区予選会＞第3位 THSクラブ
＜県大会(11月18, 25, 26日)への出場権獲得＞

☆「陸上」＜第41回島原ジュニア陸上競技大会＞

- | | | |
|---------------|-----|---------------------------------|
| ・6年男子100m | 第1位 | 木原 凜人くん (14秒34) |
| ・6年女子100m | 第2位 | 佐々木 ゆのさん (14秒94) |
| ・4年男子1000m | 第2位 | 西田 伊織くん (3分47秒) |
| ・小学生男子4×100mR | 第1位 | 安達 大雅くん 木原 凜人くん 高橋 篤人くん 林田 怜くん |
| ・小学生女子4×100mR | 第2位 | 西田 琉奈さん 佐々木ゆのさん 佐々木ゆやさん 平山 怜愛さん |



「収穫の秋」

10月26日、5年生が「稲刈り」を体験しました。6月に田植えをしてから、約4ヶ月で収穫の秋を迎えました。毎年、学校近くの借用田で米作りを行っていますが、当日はJA西有家青年部の多くの方々にご協力いただき、5年生全員で取り組むことができました。子どもたちは手作業でしたが張り切って稲刈りを行いました。その後、青年部の方に機械で脱穀していただきました。「米は八十八手」というほど成長するまで多くの手がかかるものですが、子どもたちに米作りの大変さと収穫の大きな喜びを体験させていただいた相川三千男部長様をはじめ、JA西有家青年部の皆様方のご支援、ご協力、そしてこれまでのお世話に厚く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



行事予定

＜11月＞

- 2日(木) 秋の遠足
- 5日(日) 市P連球技大会(ペタンク)
- 8日(水) 全校朝会
- 9日(木) 持久走全校練習開始
- 17日(金) 学習発表会
- 17～19日 西望賞・古野賞展(南有馬体育館)
- 18日(土) 県P研究雲仙大会



21日(火) PTA本部役員会

22日(水) 児童集会、クラブ活動

28日(火) SDGs学習会(3～6年)

＜12月＞

12月 1日(金) 持久走大会(兼：授業参観)

12月13日(水) 市学力テスト(1,2年:算数)

12月14日(木) 〃(全学年:国語,3～6年:算数)

12月22日(金) 第2学期終業式(給食有)

